

日本看護歴史学会 會報

日本看護
歴史学会
第48号
2007年7月15日



日本看護歴史学会 第21回学術集会の開催にあたって 学術集会長 福本 恵 (京都府立医科大学医学部看護学科)

日本看護歴史学会学術集会は本年で第21回を迎え、7年ぶりに京都で開催することになりました。これまでと同様に談論風発、人的交流盛んな学術集会になりますよう、多くの皆さまのご参加を心からお待ち申し上げております。



今回の学術集会のメインテーマは「歴史から学ぶ看護のこころ～仏教系の看護婦養成と近代的看護教育～」です。京都は近代看護教育発祥の地であります。京都看病婦学校に代表されるものですがこの教育にはクリスチャンナースの存在がありました。また、それらの活動に触発されて仏教会が看護婦養成に着手しました。これら初期の看護教育に共通する開設者それぞれの宗教的なバックボーンと教育の重要な要素のひとつである看護精神はどのように繋がられたのでしょうか、関心のあるところです。第1日目の教育講演は、メインテーマのもと近代仏教史、仏教看護活動にご造詣の深い先生方からご講演いただきます。さらに、看護歴史家を交えて「宗教の理念と看護のこころ」と題して鼎談を予定しています。

これらをとおして、宗教と看護のかかわりに関心をお寄せ頂き、この分野の歴史研究が推進されることを期待するものです。会長講演は亀山美知子と看護歴史研究と題して、氏の

凝縮された研究期間とその内容について跡付けたいと考えています。亀山美知子は会報第6号の巻頭言で次のように述べています。『歴史とはよくいわれるように単に事実を書き連らねるだけの「生じたる歴史」をいうのではなく歴史存在でもある自分の目を通して視た歴史を叙述する「書かれたる歴史」が目指されるべきものです。そのためにはすでに確立されている歴史観も含め、個々の歴史を視る目(=歴史観)を養う必要があります。だからといって事実を無視することは許されません。事実こそ人間が最も把握しやすい真実だからであり、ある事象の生じた背景とその及ぼした影響について因果関係を明確にする作業は歴史研究にとって基本的かつ重要な意味をもっています。そのためには客観的情報を十分得ることが求められます。史料はその事象に限ってのみ集められるべきではなく、その事象に関連するものについては涉猟されねばなりません。収集すべき史料は、より蓋然性の高い根本史料であることが望まれます。』以上、本会の初期のものですが、京都での開催にあたって、歴史研究の初心、さらには研究の質的向上を目指す姿勢に立ち反ってとの思いで紹介致しました。

第2日目の交流セッションは6テーマ、研究発表は22題です。幅広い領域からの創造的な研究成果の発表にご期待ください。また、会期中「亀山美知子の業績」として収集された史料等も含め、展示コーナーを設けます。是非、ご覧いただきますよう、併せてご案内申し上げます。



🌸🌸🌸🌸🌸 日本看護歴史学会第21回学術集会のお知らせ 🌸🌸🌸🌸🌸

日本看護歴史学会第21回学術集会を京都府立医科大学（広小路キャンパス）で開催します。会員の皆さま、看護の歴史に関心をお持ちの皆さまに多数ご参加いただき、実り多い学術集会になりますよう、ご協力よろしく申し上げます。

テーマ 歴史から学ぶ看護のこころ～仏教系の看護婦養成と近代的看護教育

会期と会場

- 京都府立医科大学広小路キャンパス
- 2007年9月1日（土）～9月2日（日）

9月1日（第1日目）プログラム

9:30 受付	展示コーナー 「亀山美知子の業績」
10:00 開会	
10:10 会長講演	
11:00 教育講演Ⅰ	
13:30 教育講演Ⅱ	
15:20 鼎談	
16:30 総会、次期会長挨拶	
18:00 懇親会	

会長講演「亀山美知子と看護歴史研究」

会長：福本 恵（京都府立医科大学）
司会：高橋みや子（京都橘大学）

教育講演Ⅰ「近代日本における仏教と医療・看護・福祉のかかわり」

講師：中西 直樹（筑紫女学園大学）
司会：名原 壽子（九州看護福祉大学）

教育講演Ⅱ「京都看病婦学校と京華看病婦学校—明治期における近代看護の癒しのこころを考える—」

講師：小野 尚香（神戸親和女子大学）
司会：岡山 寧子（京都府立医科大学）

鼎談 テーマ「宗教の理念と看護のこころ」

鼎談者：中西 直樹（筑紫女学園大学）
小野 尚香（神戸親和女子大学）
坂本 玄子（看護史研究会）
司会：芳賀佐和子（東京慈恵会医科大学）

9月2日（第2日目）プログラム

9:00 受付	展示コーナー 「亀山美知子の業績」
9:30 交流セッション	
10:40 一般演題（口演、示説）	
12:40 閉会	

【交流セッション：第1～第6会場】

1. 戦後の看護改革で活躍したクリスチャンナースたち
話題提供者：大石杉乃 司会：岡崎寿美子
2. 看護歴史関連史料の保存と活用に関する調査研究—アメリカの事例を通して
話題提供者：高橋みや子 司会：依田和美
3. 看護のこころと仏教
話題提供者：大平政子、大橋紀恵
司会：玄田公子
4. 地方における看護教育史研究一年表作成の取り組み—
話題提供者：大串靖子 司会：小山敦代
5. 看護の歴史研究のあり方をめぐって
指定発言者：滝内隆子、米沢洋子
司会：草刈淳子
6. 精神病院における男性看護者と女性看護者—末安民生氏に聞く、昭和50年代の都立松沢病院でのパートナーシップ—
聞き手：山崎裕二
話題提供者：末安民生 司会：田中幸子

【一般演題：口演 第1会場（5題）】

- 座長：山本 捷子
1. 明治期の看護書にみる精神看護教育：日下修一
 2. 日本の精神看護学の源流—『癲狂院に於る精神病看護学』の位置づけ—：鷹野朋実
 3. 明治期におけるわが国の精神看護のはじまりに関する歴史的考察：佐々木秀美

- 4. 門脇眞枝『精神病看護学』にみる精神看護—明治期の精神看護—：三浦 藍
- 5. 明治期における精神科の看護書：澤田恵子

【一般演題：口演 第2会場（6題）】

座長：大石 杉乃

- 6. ナイチンゲールにおけるスピリチュアル・プラクティスとしての看護—看護の真の仕事（True Work）とは—：菱刈美和子
- 7. 総合看護について、前田アヤと金子光の比較と位置づけ：熊田栄子
- 8. ナイチンゲールの看護における「三つの関心」の変遷：山崎律子
- 9. 看護職のジェンダー化の過程—フランスの事例から：佐藤典子
- 10. 広島県における戦後の看護教育の変遷：迫田千加子
- 11. 第2次世界大戦中の沖縄県立沖縄病院附属看護婦養成所における看護教育（第2報）—卒業生のその後の看護活動—：上里利恵子

【一般演題：口演 第3会場（6題）】

座長：丸山マサ美

- 12. 田中定編述による2冊目の看護書「八種伝染病看護法」について—伝染病予防対策に期待された看護—：上坂良子
- 13. 明治24年濃尾地震における岐阜県武伎郡関町での日本赤十字社の医療救護と看護婦の活動：川原由佳里
- 14. 徴兵令の改正と徴兵看病卒採用に関する一考察—明治12年・16年の徴兵令の改正から—：鈴木紀子
- 15. 明治から大正期の婦人雑誌・新聞にみる高木兼寛の女子健康観：蝦名総子
- 16. 戦前の日本赤十字社看護婦生徒の履歴（第1報）明治期の『看護婦生徒名簿』の分析：山崎裕二
- 17. 産育習俗からみた臍の緒に関する価値観と今日的意義：豊島よし江

【一般演題：示説 第4会場（5題）】

座長：藤村 龍子

- 18. 京都における派出看護婦会創設期の京都看病婦学校卒業生の活動：竹中京子
- 19. 看護教育史に関する研究—基礎教育課

程における一般教育科目の変遷
：河津芳子

- 20. 明治期の宮城県における県立産婆養成所の教育過程：小山田信子
- 21. 神奈川県が公布した「看護婦会会則」等にみる派出看護婦会の管理：小川景子
- 22. 長野県南部山間地における助産師の果たした役割—松村もとゑの活動—：黒田裕子

参加費	事前申し込み	当日
会 員	7,000円	8,000円
非 会 員	8,000円	8,000円
学生（院生除く）	2,000円	2,000円
昼食代 両日とも	1,000円	
懇 親 会 費	3,000円	

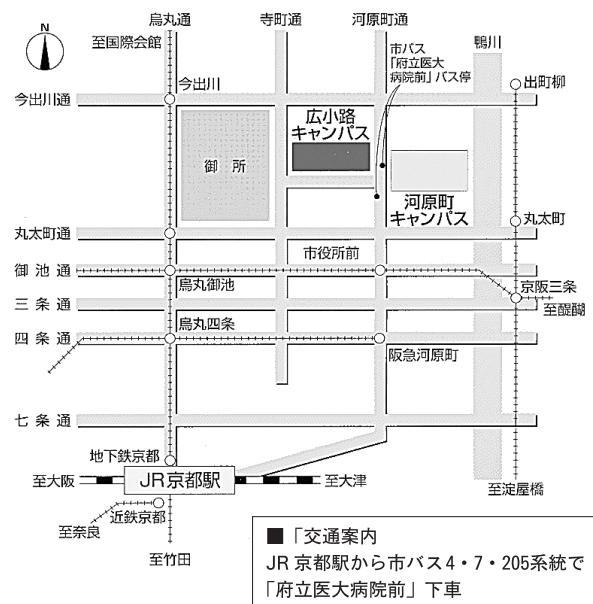
（懇親会場は鴨川べりの「KKR くに荘」の和食です。どうぞお楽しみに！）

*事前申込期限 2007年7月31日：延長しました！

振 込 先 郵便局00940-3-318699

加入者氏名 日本看護歴史学会第21回学術集会

★京都府立医科大学広小路キャンパス案内図★



連絡先：〒602-0857

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410

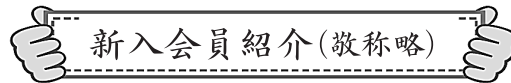
京都府立医科大学医学部看護学科

日本看護歴史学会第21回学術集會事務局

TEL/FAX：075-212-5434（福本）

075-212-5433（堀井）

E-mail：rekisi21@ss.cmt.kpu-m.ac.jp



新入会員紹介(敬称略)

土井 智子 (06-053)	小松万喜子 (06-059)	一戸とも子 (07-001)
加藤サツキ (06-054)	前信 由美 (06-060)	殿城 友紀 (07-002)
吉長 真子 (06-055)	山口みのり (06-061)	西田 志穂 (07-003)
武見 綾子 (06-056)	水田真由美 (06-062)	岡田 麗江 (07-004)
津村 寿子 (06-057)	小笠原ゆかり (0-6063)	田中 広美 (07-005)
吉川 隆博 (06-058)	望月 さよ (06-064)	早坂 佳子 (07-006)

* ()内は会員番号



編集委員会たより

先日、学会誌第20号を発刊しましたが、その中に、20周年を1つの節目として、創刊号から20号までの「主要記事一覧」を掲載しました。本学会の看護歴史研究に対する姿勢と学会の歩んできた道のりを垣間見ることができます。編集委員会としましては、それらを継承しつつ、より質の高い学会誌発刊への努力を重ねていきたいと考えております。その1つの取り組みとして、現在、査読システムの見直しを検討しているところです。より一層充実した研究成果の発表の場となるためのシステムづくりです。まだ少し時間はかかると思いますが、何とか任期中には成案を得たいと考えています。また、本学会をより広く理解していただくために、今号より「諸規則」、「役員名と役割分担」、「査読委員一覧」を掲載しました。すでに、第21号発刊に向けての準備もすすめており、皆様からの積極的なご投稿を期待しております。

(編集委員会担当理事：岡山 寧子)

年会費は6,000円です

本学会は、皆さまからの会費収入で運営しております。ご協力をお願いいたします。なお、年会費を未納されますと会則6条の規程により、会員の資格を失うこととなりますので、ご注意ください。

学会事務局

加入者名 日本看護歴史学会

口座番号 01010-1-52185

編集後記

第48号は、日本看護歴史学会第21回学術集会(開催案内)を特集しました。会員の皆様と京都でお会いし、会報紙面に関するご意見、ご提案をいただきたいと思っております。(す)



お知らせ

～日本看護歴史学会創立20周年事業
プロジェクト委員会から～

日本看護歴史学会創立20周年事業プロジェクト委員会では、写真集作成に向けて活動しています。写真集の小テーマと責任者は以下の通りです。

- ①戦争と看護 (大石杉乃)
- ②災害と看護 (高橋みや子)
- ③看護の制度と教育 (氏家幸子、草刈淳子)
- ④看護の学術団体 (平尾真智子)
- ⑤疾患や医療テクノロジーの変化と看護 (川原由佳里、川嶋みどり)
- ⑥看護技術 (川嶋みどり、氏家幸子)
- ⑦看護管理 (草刈淳子)
- ⑧外国看護の移入 (川嶋みどり、大石杉乃)

ご注意ください!

事務局が移転しました

〒990-9585

山形市飯田西2-2-2

山形大学医学部看護学科 田中幸子

Tel&FaX: 023-628-5432

e-mail: nhistory-gakkai@umin.ac.jp

日本看護歴史学会会報 第48号

企画・編集 高橋みや子 (京都橋大学)
大石杉乃 (東京慈恵会医科大学)

発行責任者 田中幸子 (山形大学)

印刷 有限会社 新和印刷

事務局 〒990-9585

山形市飯田西2-2-2

山形大学医学部看護学科 田中幸子

Tel&Fax 023-628-5432

e-mail nhistory-gakkai@umin.ac.jp